

令和元年 第3回 サバイバル教室開催（令和元年8月25日）

宮島花火大会の翌日、令和元年8月25日（日曜日）午後1時から3時30分まで、大野東市民センター2階料理教室において、子供16名、母親8名、支援の先生2名、役員7名の、合計33名で、第3回サバイバル教室を開催しました。

今回の教室は、「あじの3枚おろし」、最初に中川副区長のスケジュール紹介のあと、青柳区長に「包丁のときかた」を講習してもらいました。そののち区長に実演をしてもらい子供たちが区長のまわりに集まりその手さばきに目を輝かして、見入っていました。

その後、参加者全員が持参した包丁を研ぐ作業をしました。子供さんは小さな手で真剣に研いでいました。切れる包丁の完成で準備万端整いました。

包丁の準備ができたところでいよいよアジの3枚おろしに着手、最初に青柳区長が魚をいかにして切るかの説明をしたのち、アジの現物を使って実演しました。

いよいよ全員でアジの3枚おろしに着手、先生の支援を得ながら恐る恐る包丁でさばいて行く子供たち。みかねて支援する先生、母親さん、次第に包丁さばきが旨くなっていき先生に褒められる子供たち。目は輝いていました。

その後、さばいたアジに塩コショウをふりかけ、小麦粉にまぶして卵をボールにといて浸した後、パン粉で衣をつくったところで完成。あとはラップに包んで家にお持ち帰り。今晚のおかずになります。さぞかし今晚の食卓は大賑わい。楽しい楽しいサバイバル教室「アジの3枚おろし」でした。来年も多くの方のご参加をお待ちしています。

防犯青少年育成部会長 坂本 幸雄